

篠岡地区学校再編計画(案) について

2026年2月7日(土) 10時～

1. 第1期学校再編における学校名について

2. パブリックコメントの実施結果について

3. 今後の取組について

第4回会議の振り返り（学校名について）

- 第4回会議では、再編後の学校名（案）について、今回の学校再編は「**しのおか学園**」としての新たなスタートであることを児童生徒をはじめ、保護者、地域、教職員に全体で共有できるよう、**新たな学校名を用いること**とした上で、**篠岡地区を一つの学び舎と捉える「しのおか学園構想」**の考え方をわかりやすく示すことができる名称として『**篠岡東／篠岡西**』を提案させていただきました。
- これに対し、賛否に加え、校名の提案、児童生徒や地域住民の意向を確認してほしい旨の意見などを複数いただきました。
- より多くの方々に親しみと愛着を持っていただける学校名とするため、提案の多かった学校名等を候補とし、**アンケート調査を実施**しました。

学校名の案について

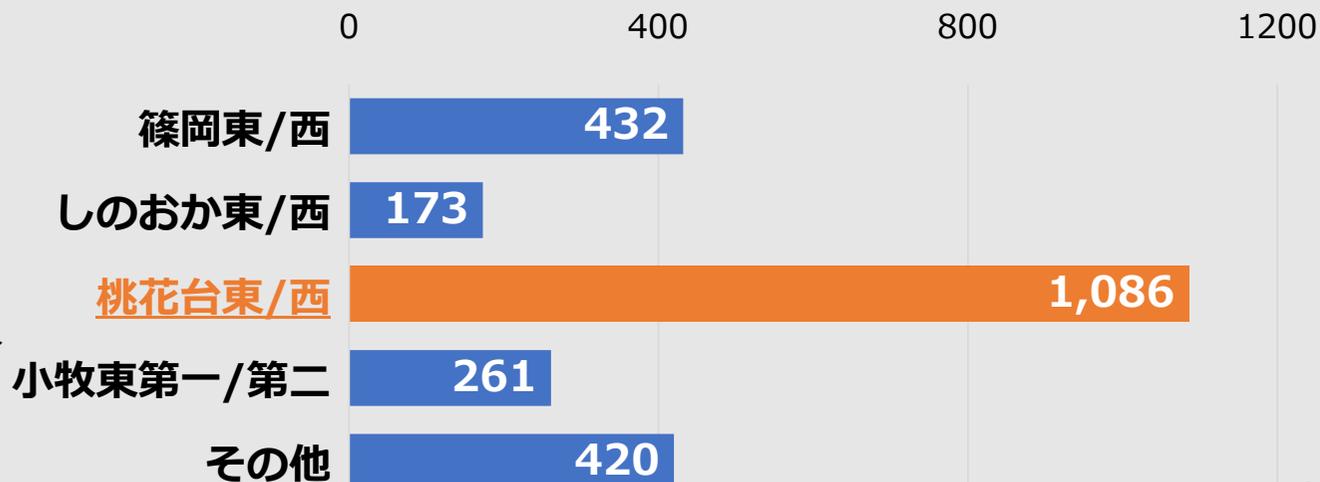
- 学校名の案については、先のアンケート結果を踏まえ、以下のとおりとします。

～令和8年度	令和9年度～
光ヶ丘小学校／光ヶ丘中学校	桃花台東小学校／桃花台東中学校
桃ヶ丘小学校／桃陵中学校	桃花台西小学校／桃花台西中学校

- 今後、学校名の改正に向け、学校設置条例の改正等の手続きを進めます。

《参考》アンケート結果

- ・ 期 間 R7.11.10～12.19
- ・ 投票者数 1,925人
 - 小中学生 996人 保護者 483人
 - 教職員 103人 地域住民 343人
- ・ 投票数 2,372票



(「学校名を変更するべきではない」、新たな学校名の提案など)

1. 第1期学校再編における学校名について
- 2. パブリックコメントの実施結果について**
3. 今後の取組について

パブリックコメント実施結果

意見募集期間

令和7年11月10日（月）～12月9日（火）

提出された意見の件数

55名より計142件

<主な意見>

意見内容
令和9年度の再編が早すぎるのでは
住民等に丁寧に説明をするべきでは
小規模校・少人数学級でもいいのでは
学校がなくなると地域が衰退してしまうのでは

<提出された意見と
市の考え方（一覧）>



パブリックコメントで頂いたご意見

ご意見. 令和9年度の再編は早すぎるのでは

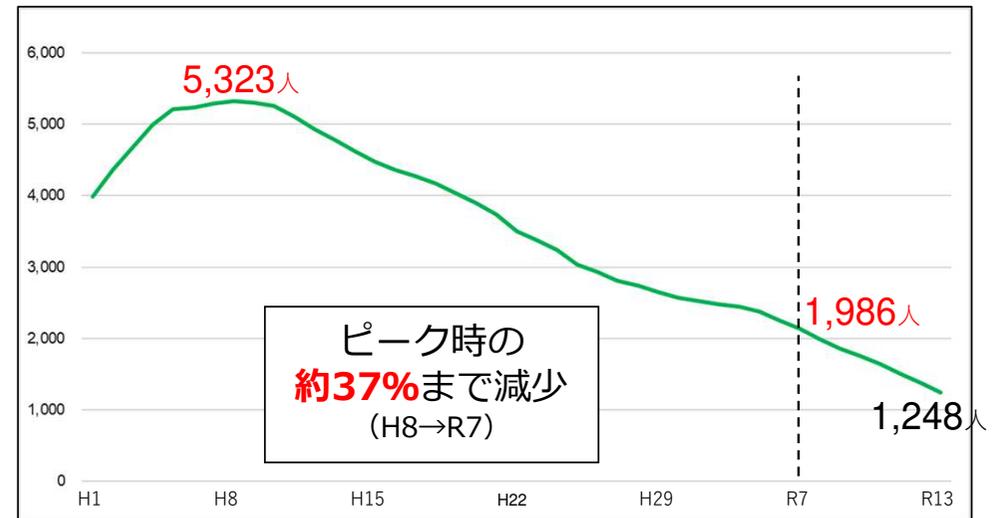
意見（要約）	市の考え方
<p>令和9年度に学校は活動出来ても、そこに通う子どもと保護者達の準備は間に合うのか？急すぎると感じる。少しでいいので対象になる子どもと保護者達の気持ちを汲んで頂きたい。</p>	<p>子どもたちが多様な考え方に触れ、社会性を養いながら成長をしていくためには、一定の学校規模に近づけていくことが必要であると考えています。</p> <p>そうした中、篠岡地区の今後の児童生徒数の推計としましては、現在、篠岡地区に在住しています0歳から5歳までの人数は把握できますので、今後6年間の児童生徒数はかなり精度の高い推計が可能です。</p>
<p>計画発表から実施までの期間が短い。住民への周知が不十分である。令和9年度に再編する理由を知りたい。</p>	<p>その推計に基づく児童生徒数の減少の状況を鑑みると学校再編に猶予はなく、可能な限り早く再編を行う必要があり、最短で実施が可能な令和9年度とさせていただいたものです。</p>

○令和9年度の児童生徒数の推計

	(R10/1年)				1年				2年				3年				4年				5年				6年				合計	
	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	学級数
篠岡小	34	21	13	1	21	14	7	1	34	16	18	1	29	13	16	1	37	17	20	1	33	22	11	1	42	29	13	2	196	7
桃ヶ丘小	30	12	18	1	31	21	10	1	23	10	13	1	22	7	15	1	25	9	16	1	47	20	27	2	54	30	24	2	202	8
陶小	18	7	11	1	28	11	17	1	25	15	10	1	25	16	9	1	24	17	7	1	24	14	10	1	29	14	15	1	155	6
光ヶ丘小	33	13	20	1	29	10	19	1	40	21	19	2	38	24	14	2	51	21	30	2	42	21	21	2	40	20	20	2	240	11
大城小	26	9	17	1	35	20	15	1	26	14	12	1	32	15	17	1	47	24	23	2	38	17	21	1	47	28	19	2	225	8

	1年				2年				3年				合計	
	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	学級数
篠岡中	44	18	26	2	44	21	23	2	50	22	28	2	138	6
桃陵中	118	62	56	4	117	56	61	3	121	63	58	4	356	11
光ヶ丘中	73	37	36	3	82	44	38	3	80	34	46	2	235	8

○篠岡地区の児童生徒数の推移・推計



パブリックコメントで頂いたご意見

ご意見. 住民等に丁寧に説明するべきだ

意見（要約）	市の考え方（要約）
<p>わたしは、学校再編について一度も説明を聞いたり、意見を言う機会を与えられていない。広く子ども達、保護者、市民の意見を聞いてほしい。</p>	<p>これまで、「学校を考える会」や「保護者等との意見交換会」「住民説明会」などを通して児童生徒数の減少が特に顕著である篠岡地区においては、子どもたちのより良い教育環境を目指していく上で、学校再編は避けては通れない状況にあることについては、丁寧に説明を行ってまいりました。また、それぞれの会議録はすべて公開するとともに、広報やホームページだけではなく、「学校再編だより」の発行やSNSでの発信など広報活動の拡充にも努めております。</p>
<p>市民や子どもたちの合意が得られているか疑問。もっと、時間をかけて市民や子ども達の声をきいてから結論を出してもよいのではないか。</p>	<p>こうした取組により、子どもたちにより良い教育環境を目指していく上で、篠岡地区において学校再編は避けては通れない状況にあることについては、多くの市民の皆様にご理解をいただいているものと考えています。その上で、具体的な再編時期やスクールバスの運行、子どもたちの心のケアなどに関し、ご心配の意見をいただいていると認識しています。</p> <p>そのため、学校再編に向けて様々な対策の検討を進め、できるだけ速やかに保護者をはじめ地域の皆様にもお知らせすることで不安の解消に努めていきます。</p> <p>学校再編を進めるに当たり、地域の皆様のご理解とご協力が不可欠であるため、今後も引き続き、丁寧な説明と対話を重ねながら進めてまいります。</p>

	これまでの取組
令和4年 8月	・ 公共施設に関する市民アンケート
令和5年 1月	・ 小中学校長会、PTA連絡協議会等から「適正規模・適正配置等の考え方の整理」等に関する要望書の提出
令和5年11月	・ 新たな学校づくり推進計画検討委員会 ・ 新たな学校づくり推進計画調査検討部会
令和6年 1月	・ 新たな学校づくりに関するアンケート
令和6年 5月	・ タウンミーティング
令和6年 7月	・ 小牧市新たな学校づくり推進計画に関するパブリックコメント
令和6年 9月	・ 小牧市新たな学校づくり推進計画策定
令和7年 5月	・ 第1回篠岡地区の学校を考える会 ・ 第2回篠岡地区の学校を考える会
令和7年 6月	・ 篠岡地区区長会への説明① ・ 地域協議会代表者への説明① ・ 第3回篠岡地区の学校を考える会
令和7年 7月	・ 学校再編に関するアンケート

	これまでの取組
令和7年 8月	・ 篠岡地区学校再編に関する保護者等との意見交換会（3回） ・ 篠岡地区の教職員への説明会（7回）
令和7年 9月	・ 篠岡地区の学校再編に関する住民説明会 ・ 篠岡地区区長会への説明②
令和7年10月	・ 陶小学校PTAとの意見交換 ・ 第4回 篠岡地区の学校を考える会
令和7年11月	・ 篠岡地区区長会への説明③ ・ 総合教育会議 ・ 篠岡地区学校再編計画に関するパブリックコメント ・ 学校名に関するアンケート ・ 地域協議会代表者への説明②
令和7年12月	・ 通学路パトロールボランティアとの意見交換（5回）

パブリックコメントで頂いたご意見

ご意見. 少人数学級や小規模校でも問題ないのでは

○ **少人数学級** = 1クラスの人数を少なく編成する仕組み（ルール）

※小牧市の1学級あたりの上限人数は、**令和7年時点**で愛知県の基準と同様に、
小学校と中学1年生は35人、中学校の2・3年生は40人

○ **小規模校** = 全体の規模（児童生徒数・学級数）が小さい学校

※国は、11学級以下の学校を「小規模校」として位置づけ

意見（要約）	市の考え方（要約）
少人数学級に切り替えていくべきでは	令和8年度より愛知県では国に先駆けて 中学2・3年生について段階的に35人学級への引き下げ を実施する予定をしており、本市においても同様に進めていく考えです。 市としても、少人数学級は、個に寄り添ったきめ細かな指導ができることなどのメリットがあることは理解していることから、計画案を修正します。
小規模校でもいいのでは	学校教育では、子どもたちが多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力を伸ばしていくことが重要であると考えており、 学校規模を適正規模にできるだけ近づけていくことが必要 であると考えています。

パブリックコメントを踏まえた計画案の見直し

- 少人数学級についての記述を追加しました。

修正後（P.4）

本市としましては、少人数学級を否定する考えはありませんが、少人数かつ単学級の学年が多数を占めるような小規模校につきましては、学校内で多様な他者との触れ合いが限定的となることや、クラス替えができないため人間関係が固定化されるなど様々な課題が指摘されていることから、それら様々なデメリットを解消するために、学校規模を適正規模にできるだけ近づけていく必要があると考えているものであります。

パブリックコメントで頂いたご意見

ご意見. 学校がなくなると地域が衰退するのでは

意見（要約）	市の考え方（要約）
<p>桃花台から小・中学校が減ると、魅力が一気に失われる。学校再編により、桃花台が高齢者ばかりで活気のない廃墟になるきっかけになりかねない。</p>	<p>学校は地域交流や防災など多様な機能を持っており、まちづくりを語るうえで欠かすことのできないものであると認識していますが、一義的には教育施設であり、子どもたちの学びを保障していくため、教育的な課題を置き去りにはできないと考えています。</p>
<p>学校がなくなれば、子育て時代の若い世代が離れていき、ますます過疎化が進む。</p>	<p>このため、学校再編を行い、さらに子どもたちを核として学校と地域とのつながりが深められるような学校運営や、世代を超えた地域の取組を支援していくことで、地域への活力に変えていきたいと考えております。</p>

パブリックコメントを踏まえた計画案の見直し

- まちづくりの視点での記述を追加・修正しました。

修正後

はじめに

(略)

他方、学校は地域交流や防災など多様な機能を持っており、まちづくりを語るうえで欠かすことのできないものであると認識していますが、一義的には教育施設であり、子どもたちの学びを保障していくため、教育的な課題を置き去りにはできないと考えています。

このため、学校再編を行い、さらに子どもたちを核として学校と地域とのつながりが深められるような学校運営や、世代を超えた地域の取組を支援していくことで、地域への活力に変えていきたいと考えております。

本計画の趣旨を一人でも多くの方にご理解いただくことで、地域の皆さまとともに魅力ある新しい学校づくりを進めてまいります。

パブリックコメントで頂いたご意見

ご意見. 小中一貫教育の記述がわかりにくい

意見（要約）	市の考え方
<p>小中一貫教育について書かれているがわかりにくい。</p> <p>本案では、篠岡小学校と篠岡中学校の敷地に新築する学校を小中一貫型小学校・中学校にするかしないかを検討をすること、だけでよいと解釈するが、小中一貫教育の導入が必要なら、本案再編の順序に従って関係性を時系列に書かないと、よく理解できない。</p>	<p>篠岡地区の第1期の学校再編においては、小学校と中学校の校舎が隣接し、校区も同じとなり、小中一貫教育を導入しやすい環境が整いますので、まずは、小中一貫教育の良さを取り入れた小中連携教育の取組（9年間で意識したカリキュラム）を進めていくことから始めたいと考えています。</p> <p>そして、第1期再編の学校運営を進める中で、小中連携教育から小中一貫教育への移行について、学校現場や保護者等の意見を十分に尊重しながら検討を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、計画案について、ご指摘のとおりわかりづらい部分があったので、次のとおり修正いたします。</p>

パブリックコメントを踏まえた計画案の見直し

- 小中一貫教育の検討と導入に向けたスキームが読み取りやすいよう、記述を追加・修正しました。

修正前	修正後 (P.29)
<p>③ 小中一貫教育に向けた取組 小中の連携を強化し、9年間で意識したカリキュラムを実施することで、将来の小中一貫教育の導入に向けた取組を進めていきます。</p>	<p>③ 小中一貫教育に向けた取組 将来的な小中一貫教育の導入に向けた取組として、小中の連携を強化し、9年間で意識したカリキュラムを実施していきます。</p>

修正前	修正後 (P.34)
<p>(仮称) しのおか学園 第2期再編では、<u>篠岡小学校と篠岡中学校の敷地に新たな学校を設立 (小学校1校、中学校1校に再編)</u> し、<u>小中一貫教育の導入</u>に向けて検討を進めます。</p>	<p>(仮称) しのおか学園 第2期再編では、<u>篠岡小学校と篠岡中学校の敷地に新たな学校を設立 (小学校1校、中学校1校に再編)</u> し、<u>第1期再編における小中連携強化の成果を踏まえ、小中一貫教育の導入</u>に向けて検討を進めます。</p>

パブリックコメントで頂いたご意見

ご意見. 子どもたちのケアをしてほしい

意見（要約）	市の考え方
<p>環境の急激な変化は、子どもたちに大きなストレスを与える。友人関係の分断や新しい環境への適応に苦しむ子どもが増えることが予想される。</p>	<p>再編により環境が大きく変わることは子どもたちの心身に少なからず負担になることが考えられます。 子どもたちの不安を取り除けるよう、再編前から環境に慣れることをねらいとした学校間の交流や、再編先の学校との合同活動を計画的に進めます。 また、学校間交流は学校再編において大変重要な取組でありますので、取組の内容は個別に検討する必要があるものの、計画書に学校間交流を計画的に進める旨を追記、計画案を以下のとおり修正します。</p>

- 計画案に学校間交流についての記述を追加しました。

修正後（P.38）

（2）学校間交流について

再編により環境が大きく変わることは子どもたちの心身に少なからず負担になることが考えられます。
子どもたちの不安を取り除けるよう、再編前から環境に慣れることをねらいとした学校間の交流や、再編先の学校との合同活動を計画的に進めます。

学校間交流

R8年度交流計画（案）（小学校の例）

学期	月	活動	内容
1学期	6月	自己紹介カードの交換	自己紹介カードを再編学校間で交換する
2学期	10月	中央公園交流会	桃花台中央公園で レクリエーション・遊具遊び等を行う
	11月	交流会振り返り交流	振り返りカードを再編学校間で交換する
	時期未定	文化体験交流	落語や和楽器、コンテンポラリーダンスなどを通して交流する
3学期	2月	校舎見学会	プレ登下校時において、校舎見学（桃小・光小）などを行う



※上記の他、オンラインを活用した交流を計画しています。

※市および市教育委員会においても、機を捉えて、児童生徒らの交流の機会を設けてまいります。

パブリックコメントで頂いたご意見

ご意見. 通学の安全面が心配

意見（要約）	市の考え方
<p>心配なのは登下校の安全面。今までより遠距離を歩かなければならないのは子どもたちにとって大変な負担になるし、交通事故や防犯面での不安も増える。</p>	<p>児童生徒が安全に通学できる通学路を設定し、必要に応じて通学路のカラー塗装（みどり線）を行うなど、通学路の安全対策を実施します。</p>

通学路について

○通学路パトロールボランティアからの意見交換（R7.12）



○学校との通学路点検（R8.1～）



1. 第1期学校再編における学校名について
2. パブリックコメントの実施結果について
- 3. 今後の取組について**

校章について

校章は再編後の2小2中で統一したもの（**しのおか学園の学園章**）を運用するものとし、デザインを公募します。

○公募手法

（1）応募資格

- ・小牧市内に在住・在学・在勤の方
- ・篠岡地区の小学校、中学校にかつて在学したことのある方
- ・篠岡地区の小学校、中学校の教職員、教職員であった方

（2）応募方法

郵送、電子メール、WEBフォーム、
または持参（各小中学校もしくは市教育
委員会 教育総務課）による応募

今後のスケジュール

R8.4月下旬	校章デザインの公募
5月下旬	公募締切
6～7月	選考
7月末	校章決定

学用品の取り扱いについて

○学用品の取り扱い方針

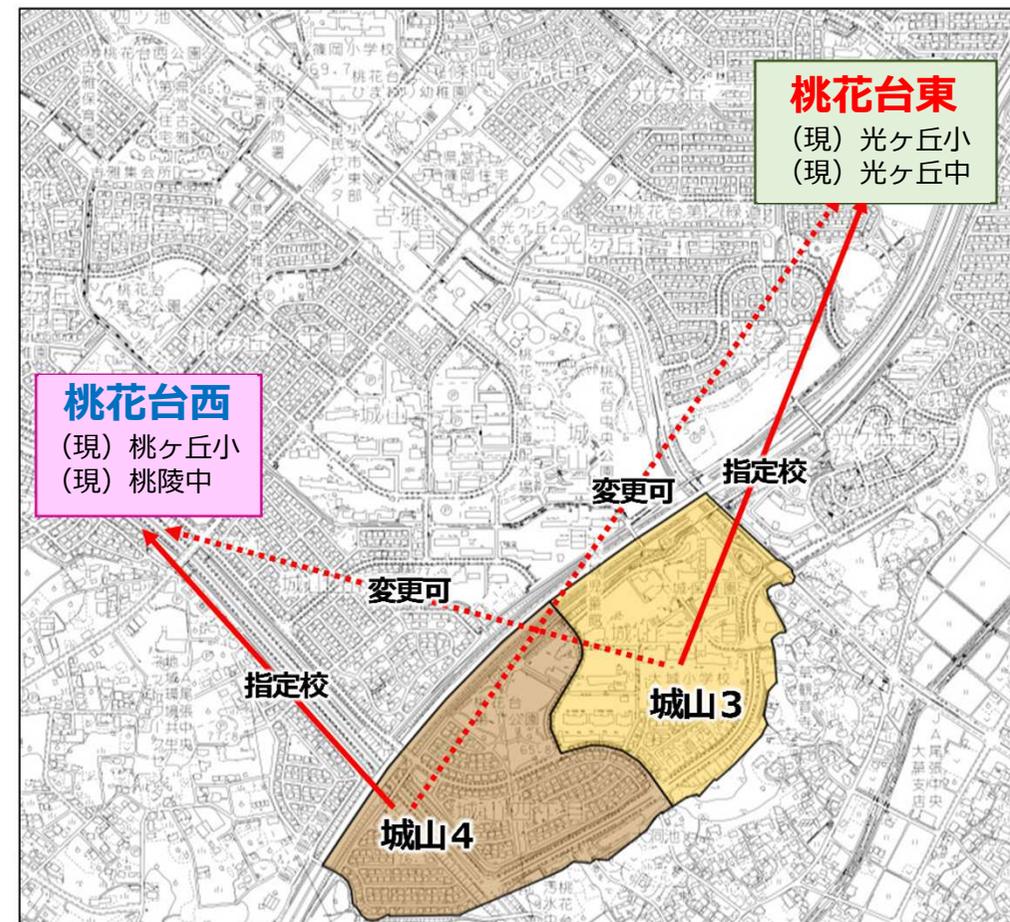
学用品については、保護者等への負担を最小限にするため、原則、既存の学用品は**引き続き、すべて利用いただけます。**

※ 令和9年度以降の新入生に関する取り扱いについては、令和8年度2学期を目途にお知らせします。



城山三丁目及び城山四丁目の就学校の指定変更について

- **城山三丁目は桃花台東小／中学校を、**
四丁目は桃花台西小／中学校を指定の
通学区域とします。
- **保護者から市へ申請することにより、**
三丁目は桃花台西小／中学校に、
四丁目は桃花台東小／中学校に
通学する学校を変更することができる
こととします。
- **令和8年6月以降、対象者に対して、**
手続き方法を案内します。



スクールバスについて

スクールバス利用等に関する説明会

1. 実施時期 令和8年8月頃予定
2. 内 容 R9バスエリア、R9バス停、乗車のルール、利用手続き
乗降確認アプリの利用方法などの説明
3. 備 考 バス利用のガイドラインにおいて説明する予定です。
ガイドラインは、前年度の運行状況や地域別の児童数などを
考慮し、必要に応じて見直しを行います。

○スクールバス対象エリアの基本ルール

- ・ 実際の**通学距離が2 km以上**となる児童に加え、**地域の特性（学校までの高低差等）に配慮し、地域毎に2km未満であっても対象とする**

バス停の検討状況

- R 7 年12月 各小学校の通学路パトロールボランティアの方から意見聴取
- R 8 年1月上旬 バス停候補（案）の作成
- 1月下旬 バス停候補（案）の試走
- 2月～ 課題の洗い出し、**バス停候補（案）の再作成**



バス停の検討状況

■ 学校内の乗降場所候補

(桃花台東小) 光ヶ丘小学校東側駐車場

- 乗降スペースを広く確保できる
- 東門から進入、敷地内で転回し、東門から出車
- 登校時は縦列（最大2台程度）に駐車、
下校時は横並びに停車を想定



(桃花台西小) 桃ヶ丘小学校北側駐車場

- 乗降スペースを広く確保でき、降車後や
徒歩児童との動線をわけやすい
- 西門（現在は不使用）から進入、敷地内で転回し、
西門から出車（又は北門から西門への一方通行）
を想定



スクールバスへの添乗員の乗車

- **保護者より、次の理由から「添乗員を配置してほしい」という声が多数寄せられました。**
 - ・低学年児童が利用する際の不安（乗降時・車内での対応）
 - ・運転手のみでは、運転中での安全確認や児童対応が難しい
- これを受け、保護者の不安解消と、何より児童の安全・安心を最優先に考え、**すべてのバスに添乗員を配置し、運行の安全性を確保する方針**としました。

添乗員の役割

車内での見守り（立ち歩き防止、声かけ等）

乗り間違い・降り忘れ・忘れ物の防止

トラブルの未然防止（児童間のトラブル、注意喚起）

緊急時対応の補助（事故・災害・車両故障等の際の誘導、連絡補助）

安全確保のためのシステム導入

- 児童が無事にスクールバスに乗ったかどうかについて、保護者や学校が確認できる**乗降確認システム**や**バスへの置き去りを防止**するためのシステムを導入します。
- バスの運行契約と併せて、乗降確認システム等についても選定・契約し令和8年中に保護者の皆さまにお試しいただける機会を設ける予定です。

■ アプリ等、ICTを活用した乗車確認のイメージ（登校時）

～7時頃	7時半～7時45分頃	8時15分頃
《保護者》 アプリ等で欠席連絡 	《保護者》 バス停への付き添い 《児童》 乗車時に打刻 (QRコード等) 	《児童》 降車時に打刻 (QRコード等) 《保護者》 アプリ等で到着を確認 
《学校》 欠席連絡の確認 《バス》 連絡等を踏まえ運行	《学校》 WEB等で乗車状況を確認	《学校/バス》 WEBと目視で 降車状況の確認

スクールバスに関する今後の予定

1. スクールバス体験乗車会（令和8年11月頃～）

- ・バス停毎に複数回、実際にバスへの乗車や学校での降車方法などを体験いただける「体験乗車会」を実施（申込制）

2. プレ登下校（令和9年2月頃）

- ・4月からの実際の登下校を想定した「プレ登下校」を実施
- ・スクールバス複数台が同時に運行予定
- ・登校後、交流事業を実施予定



児童クラブと地域協議会について

児童クラブ

- 令和9年度以降の児童クラブは**再編後の学校**にて実施します。
(篠岡小、陶小、大城小では実施しません)
- 運用ルール等については変更の予定はありません。

地域協議会

- 地域協議会をはじめ、既存のコミュニティを活用した地域活動等は今回の学校再編に伴う組織のあり方について、各担当部署と協議が進められています。
- こうした中、地域協議会については「**新たな小学校区に基づく再編を目指す**」旨の案が示され、篠岡地区の協議会代表者による会議体を設置し、再編の時期や方法等について議論が深められていく予定です。

その他、令和8年度以降のスケジュール

時 期	内 容
令和8年 2月	篠岡地区学校再編計画の策定予定
令和8年 3月	小牧市市立学校設置条例の改正予定
令和8年 6月	<ul style="list-style-type: none"> ・篠岡地区学校再編に関する保護者説明会 ・スクールバス事業者との契約締結 ・就学校の変更申請に関する勧奨（城山三、四丁目）
令和8年 8月	スクールバスの利用に関する保護者説明会
令和8年10月	就学時健診（R9新入生） ※会場：現在の5小学校3中学校
令和8年11月	スクールバス体験乗車会、アプリの試用（～12月頃）
令和8年12月	8校合同学校運営協議会
令和9年1～2月	<ul style="list-style-type: none"> ・入学説明会（R9新入生） ※会場：再編後2小、2中学校 ・プレ登下校
令和9年 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・閉校式（5小学校、3中学校） ・学校備品等の移設
令和9年 4月～	開校式（再編後2小、2中学校）



その他、令和8年度以降のスケジュール

○令和8年度篠岡地区学校再編に係る保護者等説明会

- ・令和8年6月以降に5地区の小中学校体育館にて、「再編計画の内容」や「再編後の学校運営」等を中心とした説明会を実施します

場 所	対 象
篠岡中学校 体育館	篠岡小、篠岡中の保護者
桃陵中学校 体育館	桃ヶ丘小、桃陵中の保護者
光ヶ丘中学校 体育館	光ヶ丘小、光ヶ丘中の保護者
陶小学校 体育館	陶小学校の保護者
大城小学校 体育館	大城小学校の保護者
東部市民センター 講堂	(指定なし)

※R9入学予定の未就学児保護者にも案内